

## 令和3年度 国立大学イノベーション創出環境強化事業 配分額(案)

令和3年9月30日  
ガバニングボード決定

「官民研究開発投資拡大プログラム運用指針」に基づき、国立大学イノベーション創出環境強化事業の令和元年度から令和3年度採択大学への令和3年10月の配分額を次のとおり定める。

合計9大学(配分総額 1,700 百万円)

## 令和3年度採択大学

大学名	配分額
お茶の水女子大学	300 百万円
浜松医科大学	200 百万円
名古屋大学	500 百万円
北海道大学	400 百万円

計4大学(配分額 1,400 百万円)

令和2年度採択大学<sup>1</sup>

大学名	配分額
岐阜大学	40 百万円
九州工業大学	40 百万円
岡山大学	80 百万円
東京農工大学	40 百万円

計4大学(配分額 200 百万円)

令和元年度採択大学<sup>2</sup>

大学名	配分額
東京医科歯科大学	100 百万円
山梨大学	—
名古屋工業大学	—
千葉大学	—
東京工業大学	—

計1大学(配分額 100 百万円)

<sup>1</sup> 採択から2年目の大学には、年度の配分額の6割を4月に配分。審査・評価委員会でのフォローアップ審査に基づき、10月の配分額を、留保分(年度の配分額の4割)の全額とするか減額するか決定する(減額分は他大学の配分に乗せ)。令和3年度は、減額の対象となる大学はない。

<sup>2</sup> 採択から3年目の大学には、特に優れた実績がある場合に配分。